

町内の桜を堪能しながらウォーキングを楽しむ参加者（鳩ヶ丘地内）



桜の絶景スポットへの散策に参加者も大満足（石坂地内）

## 桜を見ながら健康ウォーキング はとやまSAKURAウォーク

4月3日、鳩山町保健推進協力委員（事務局：町保健センター）主催の「はとやまSAKURAウォーク」が開催され、42人の参加者が、町民体育館をスタートし、鳩山ニュータウン・石坂地内約6.4kmのコースを歩きました。

「町内の桜の名所を巡ってみたい」との思いから、この時期では初開催となったこのイベント。随所で満開となった桜を見ながらウォーキングを楽しんだ参加者は、この日一番の桜スポットとなる、石坂地内で咲く約150本の桜に感動していました。

「普段は桜の木の手入れや周辺の草刈りなど、大変な作業をしているが、一年に一度、この景色をみられる喜びがある」と語る所有者の安藤定廣さんは、見学者が来ることを大歓迎の様子。参加者は、壮大な春景色に感動しつつ、「こんな素敵な散策コースがあったのは知らなかった。ウォーキングは健康に良いばかりでなく、鳩山町のいろいろな魅力を再発見できるのも楽しい」と、心地よい疲れとともに大満足の様子でした。

## 高齢者の骨折予防を学習 認知症見守り事業講演会

3月24日、町保健センターで「認知症見守り事業講演会」（主催：地域包括支援センター）が開催され、日本医療科学大学 非常勤講師の平林 佑介氏が、骨折の原因や予防法、骨折の認知症発症リスクを高める危険性などについて講演しました。

参加者は、「実技もおりませた講義で、分かりやすかった」「階段の昇降時や室内での注意点など、骨折予防についての実践的な話が聞けた」「骨折について正しく理解できた」など、実践的な講義内容から多くのことを学んだ様子でした。

高齢者の骨折の予防と、自主トレについて講義する平林氏



消防庁から地域活動表彰を受賞した鳩山消防団の皆さん



## 地域に密着した防火対策活動が評価 鳩山消防団が地域活動表彰を受賞

4月1日、西入間広域消防組合鳩山分署で「消防庁消防団等地域活動表彰」の伝達式が行われ、受賞された鳩山消防団を代表して、柳澤一好団長が、小峰孝雄町長より表彰状を受け取りました。

鳩山消防団は、延べ93人（平成26年11月1日時点）の団員で構成され、火災発生時に円滑な避難・消火などができるよう、平成22年度から介護保険施設や介護サービス事業所などを訪問。避難経路や消防設備の確認、事業所会議への出席などを行い、地域防災力に寄与してきた実績が評価されました。

## 期待と不安とともに、新生活がスタート 町内の各学校・幼稚園で入学(園)式

4月8日、町内の各小中学校で入学式が行われ、季節外れの雪が舞い散る中、新1年生が、少し緊張した面持ちで、真新しいランドセルやかばんとともに初登校しました。また、4月9日には鳩山幼稚園で入園式が行われ、新入園児は、時おり保護者の方を振り向きながらも、一生懸命に園長先生の話やお祝いの言葉を聞いていました。

今宿小学校では、山口校長が「笑顔であいさつすること、先生の話をしっかり聞くこと、この2つの約束を守って、自分のことは自分でできるようがんばってください」と優しく呼びかけ、在校生からも「いろいろな勉強や行事があり、友だちがたくさんできる学校はとて楽しいところです。困ったら上級生が助けますので安心してください」と、温かい歓迎を受けていました。

なお、各園・学校での新入生数は以下のとおりです。

鳩山幼稚園：18人、亀井小学校：12人、今宿小学校39人、鳩山小学校：22人、鳩山中学校：105人



①真新しいランドセルで初めての学級活動、②6年生といっしょの入場は少し緊張（①②は今宿小）、③園長先生の呼びかけに元気に返事する園児（鳩山幼稚園）



改修を終えた亀井農村センター

## 6次産業化の新たな拠点に向けて 亀井農村センターがリニューアル

平成26年8月より改修工事を行っていた亀井農村センター（須江地内）が、3月24日に竣工し、駐車場を含む施設が全面改修されました。

改修後の亀井農村センターは、会議や集会などに使用できる会議室のほか、6次産業化の新たな拠点に向け、冷蔵庫や搬入スペースなどのある調理実習室が設置されました。今後は、地域のさまざまな活動や、現在町内で試験栽培されているあんずの加工・試作品づくりの場としても活用される予定です。

## 新たに8人が「認定農業者」に 農業経営改善計画認定書授与式

4月15日、町役場で農業経営改善計画認定書授与式が行われ、新たに8人が「認定農業者」となりました。式では、小峰町長が「町の農業経営の中心的存在として活躍してほしい」とお祈りしました。

認定農業者制度は、農業をがんばっていく人が、将来の経営の姿を数字に表すなど明確にし、それを町が認定することで、関係機関が支援を行い、農業経営の発展を目指すものです。今回の新規認定者により、町の認定農業者は延べ21人（平成27年4月15日現在）となりました。



新たに認定農業者となった皆さん